

タウンミーティング議事録

1 日時

令和3年12月19日（日）午後1時30分から3時00分まで

2 場所

向小金福祉会館 大広間

3 参加者

（1）特別職等

井崎市長、石原副市長、田中教育長

（2）部局長等

須郷総合政策部長、伊藤市民生活部長、早川健康福祉部長、
大島環境部長、秋元子ども家庭部長、石野まちづくり推進部長、
矢幡土木部長、菊池教育総務部長、前川学校教育部長、
遠藤道路建設課長、松山指導課長

（3）事務局（秘書広報課）

若林課長、稲村課長補佐、梅木主任主事、小林主事、斉藤主事、
金子会計年度任用職員、須賀主事（記）

4 来場者数

16名

5 質疑回答

裏面のとおり

Q 市民

市のがん検診について、20日くらいの候補日の中から検診日を選べと思いますが、候補日の中に日曜日が1日もないため、休日が合わず、なかなか受診できないので日曜日の検診日も検討いただきたいと思います。

次に、ふれあい公園について、借りたまままでいくのかなど、今後の予定について教えてください。

3点目に、私道から市道への変更について、市としては積極的なのかどうか、立ち位置をお聞かせいただけますでしょうか。

最後に、私は柔道整復師で、これは個人的なことになってしまうのかもしれませんが、市では医師や病院、クリニックへの患者紹介は行っているのでしょうか。

A 市（健康福祉部長）

がん検診は、県からがん検診の車両を派遣していただき行っています。会場や、ご協力いただいている財団の方の都合からも、日曜日に実施することは現状難しいです。しかしながら、市民の方からこのようなご提案をいただいたということは関係者にもお伝えし、日程について調整してまいりたいと思います。

A 市（市民生活部長）

国民健康保険のレセプト点検の中で、連絡事項をお伝えすることは行っています。

A 市（まちづくり推進部長）

ふれあい公園は非常に貴重な公園であると認識しています。現在は、地権者の方からお借りしている状況ですが、恒久的に残せることが一番望ましいと考えています。

仮に、地権者の方が、何らかの事情により手放したいという状況になった際には、市に優先的にお話をいただくこととなっています。

その際は、地権者の方のご希望に沿うような形を前提に、様々な手法を視野に入れつつ協議させていただくこととなると思いますが、現時点では、引き続き借地により公園を維持していきたいと考えています。

A 市（土木部長）

私道から公共道路への転換については、後ほど具体的な場所も含めて伺いさせていただきますと思います。

Q 市民

方針みたいなものはないのでしょうか。

A 市（土木部長）

道路の幅員や、一方通行の道であれば一定の広さの転回広場があるなど、条件がすべて揃ったものについては、公共用地として引き受けています。

皆さまのお持ちの道路が、公共用地として十分な機能が整っていればそのまま引き受けていますが、幅員が足りなかったり、舗装がされていなかったりと条件を満たされていないものについては、皆さまで整備をしていただいたうえで引き受けるというのが基本的なルールとなっています。

通常行われている開発行為などは、条件を注文して作っていただいていますので、公共用地として引き受けるために、寄贈を受けるという手続きを行っています。

Q 市民

来年の4月1日からごみ袋有料化が開始されますが、PRが不足しているのではないかと感じています。自治会の役員会や班長会でもごみ袋の有料化に関する説明をしているのですが、私の自治会では50%が賃貸アパートであり、現状でもごみの散乱、不法投棄などもあります。このまま4月1日から開始しても周知不足で問題が発生してしまうかもしれません。

先日、回覧でごみ袋の販売店のリストを見かけましたが、当初の計画のどれぐらいまで店舗販売が開始されているのでしょうか。

また、4月1日から開始されることを知らない人が多いので、各ごみステーションに案内を掲示してもらったほうが良いのではないかという意見をとある班長よりいただきました。

市の回覧では、裏面にごみ焼却炉の現状が案内されていますが、まだまだ周知が徹底されていないので、お願いしたいと思います。

今年の2月に開催された説明会では、有料化によりごみが減るという話もあり、私は賛成であるという発言を行っていますが、市の見解をお願いいた

します。

A 市（環境部長）

この4月1日より開始することは、ごみの処理料を上乗せした有料化ではなく、指定ごみ袋の導入となっておりますので、ご理解をいただければと思います。

まず、情報が届いていないということについては、さらに工夫をしてまいりたいと思います。

賃貸アパートは自治会に加入していない方も多くいらっしゃると思いますので、賃貸アパート関連の業界団体に伺って説明させていただくことを予定しています。

ごみステーションへの周知ステッカー掲示については、すでに準備を進めており、間もなく、皆さまへお知らせできるかと思います。

この他にも、公用車にステッカーを貼りつけることや、3月に全戸配布予定のごみ収集曜日カレンダーによる周知を検討しており、準備を進めています。

販売店リストの進捗状況については、もともと何店舗に販売してもらうという計画を定めていないので、何%達成したというお答えはできませんが、職員が日々市内を巡回し、新たに販売を開始した店舗や、値段の推移を確認しています。

こちらのご案内については、紙媒体では更新に限界がありますので、ホームページでも最新情報を更新し、皆さまにお知らせできるよう努めています。

Q 市民

最近、テレビで色々と市長が登場しワクワクしていますが、TX沿線が中心で、東部地区に住んでいる私たちは少し寂しさを感じています。

話は変わりますが、ワクチン接種について懸念していることがありますので質問させていただきます。

近所の知り合いの方は、柏の病院ですでに2回ワクチンを接種済みでしたが、流山市で案内しているワクチン接種予約サイトで予約してみたところ、3回目なのに接種券番号で予約できてしまったそうです。その病院でも「はじめての接種ですよ」と言われたそうです。

1回目、2回目を接種したという情報はしっかりと登録・管理されている

のかが心配になりました。もし2回目までの情報がしっかりと管理されていない場合、これから始まる3回目の接種券が郵送されてこない可能性もあるのではないのでしょうか。ワクチンに関する情報管理についてお伺いさせていただければと思います。

A 市（健康福祉部長）

流山市民は、市内の医療機関か集団接種会場で接種いただくことが基本となりますが、かかりつけ医が市外の病院の場合、そちらで予約を取っていただき接種することも可能でした。

接種の管理については、VRSというシステムに入力していただくことになっており、これが確実に行われるよう、国、市、日本医師会より、確実に迅速に記録するよう全国の医療機関に再三お願いしているところです。

ただ、今のお話をお聞きする限りでは、これが完璧にできていないという事例だと思imasるので、持ち帰らせていただき、近隣の市町村とも連携をとりつつ、再度、迅速確実な処理を呼びかけさせていただきます。

また、接種時に皆さまが医療機関に提出いただいている予診票がありますが、これとVRSを照合し、約17万人分の点検を行っています。漏れがある場合には職員が手入力で修正することが可能ですので、こういったことと併せ、接種記録が着実に記録されるようにしてまいりたいと思います。

万が一、接種券が届かない場合、保健センターのワクチン室にお伝えいただければ個別に対応させていただきますので、その旨も今後広報などでしっかり周知してまいります。

Q 市民

娘から東部市民プールを廃止しないでほしいという旨の手紙を預かっていますので、読ませていただきます。

前ヶ崎に住む7歳、4歳、2歳の子を持つ母親です。先日、隣の東部公民館の駐車場が足りないことや、東小学校のプールが好評ということで東部市民プールが廃止となることを知りました。

小さい子を持つ親はこのプールを楽しみにしており、このような理由で廃止となることは納得がいきません。

東部市民プールは大きいプールと小さいプールが分かれており、安心して遊ばせることができましたが、東小学校のプールは東部市民プールの半分の

大きさだと聞きました。

どうか廃止ではなく、改修し、また再開していただきたいと思います。

市内には中部、東部、北部、コミュニティプラザの4つのプールがあり、中部と北部は、東部と同じく40年経ちますが、定期的にメンテナンスされており、コミュニティプラザに至っては、去年メンテナンスされています。

先日、他市の友人に会う機会があり、「流山は子育てのまちとしてテレビにもよく出ているよ、素敵だよ」と言われましたが、「子育てするなら流山」というフレーズに私は引っかかりを感じました。

近くにマンションも増え、東小学校の学級も増え、学童もいっぱいです。

税金がおおたかの森周辺だけでなく、東部地域にも平等に使われるよう、ぜひプールを再開してほしいという要望です。

A 市（副市長）

娘様からの思いはしっかり受け止めさせていただきたいと思います。

ただ、先ほど挙げられた他の3つのプールは代替措置がない中、東小学校のプールは、当時より市民プールの機能を備えるという計画のもとに作られたものであり、この点については他の市民プールとは違うということをご理解いただきたいと思います。

また、他の市民プールもそうですが、市民プールは一か月弱と、開設期間が短いものとなります。そこで、東小学校のプール利用者の95%の方が満足しているというアンケート結果や費用対効果を含めて検討した結果、かねてより課題であった東部公民館の駐車場問題を解決するとともに、防災備蓄倉庫を作って市の皆さまに提供してはどうかと考えているところです。

そういった事情があることはご理解いただければと思いますが、この度頂戴いたしました娘様の思いにつきましては、この場にいない関係者にもよくお伝えさせていただきます。

Q 市民

2～3歳の子も東小学校のプールを使えるのでしょうか。

A 市（教育長）

今年度、東部市民プールを使わずに東小学校を運用した結果に基づき、幼児も安心して利用できるよう、安全面を第一に考えたスペースも設置してい

く予定です。

A 市（市長）

補足となりますが、今年の夏も、スノコをプールの底に置き、幼児用エリアを設けて遊んでいただきました。

Q 市民

名都借跨線橋の中央部分は建て替えないということかと思いますが、耐久性は大丈夫なのでしょうか。

A 市（土木部長）

J Rとともに経年劣化の調査をしていますが、コンクリート構造物のところは耐久性があり、一部補修により十分な強度が確保できていると判断しているところです。

全てを一度に変えられれば安心だというのは最もだと思いますが、ライフサイクルコストも検討したうえで、工事を施工しています。

Q 市民

経年劣化の問題について、首都高速道路も結構古くなっていると思いますが何年くらい経過しているのでしょうか。

（会場内で昭和46年からという意見あり）

昭和46年ならば、まだ大丈夫そうですね。ありがとうございました。

Q 市民

指定ごみ袋の件についてですが、私たちは分別等を十分にやっており、指定ごみ袋を導入したからといって、ごみの量が変わるとは思いません。

マンションに住んでおり、部屋番号を書いてごみ袋出していますが、戻されたことがないくらい、しっかりとやっています。

指定ごみ袋は今使っているものと比べ、値段も上がり、すごく抵抗があります。

昨年アンケートでも反対の意見がずいぶん多かったと聞いていますの

で、一律に有料化するのではなく、問題のない地域はそのままにするなどの方法は取れないものでしょうか。

A 市（環境部長）

日頃よりごみの分別にご協力いただき、誠にありがとうございます。

今回、5種類のごみうち2種類を指定ごみ袋の対象としました。

特に容器包装プラスチックごみは、燃やさないごみやペットボトルと二週間に一度回収日が重なりますので、積み残しが発生することもありましたので、この辺りの混乱は減ってくるかと思います。

もちろん、しっかりと分別にご協力いただいている方がいらっしゃることは認識していますが、指定ごみ袋を導入し、市全体として分別をしっかりと行うことで、リサイクルに回せるものは回し、燃やすものが減り、焼却炉の長寿命化及びCO₂の削減にも繋がると考えています。

また、袋の値段については、職員が随時調査しており、販売店も増加し、値段も低下傾向にあります。

17日（金）時点で、市が確認した中では、1枚当たりの最安値は45リットル袋で10.8円、30リットル袋で8.4円となっています。

ひと月前は、30リットル袋は10円を超えていましたので、市販のものより安くということは難しいかもしれませんが、遜色ない程度には安くなっていることを認識しています。

こちらの情報については、これからもホームページを通じて、最新の情報を皆さまにお届けしてまいりますので、よろしくお願いいたします。

A 市（市長）

市民の皆さまの中には、しっかりと分別にご協力いただいている方がたくさんいらっしゃることは認識していますが、市全体でみると、未だ徹底されていないことが少なくありません。

分別が徹底されず、対応に苦慮されている自治会も多くありますので、流山市全体としてごみを減量していくということでご理解いただきたいと思います。

Q 市民

ふれあい公園について、現在は単年度契約であり、転売や相続の時に市が

優先して協議できるという前提条件で約束されているとのことですが、もし協議がまとまらず、他事業者との入札競争等になった場合、おそらくあの土地は4～5億くらいになるのではないかと思います。

その場合、価格が折り合わないということで手放すことになるのか、それとも税制面との優遇等で地主と話の折り合いをつけるのでしょうか。

予算の関係もあると思いますが、少し踏み込んでお話しいただけるとありがたいです。

A 市（まちづくり推進部長）

ふれあい公園については、市としても非常に大事な公園であると認識しています。

別の森や公園の事例を挙げさせていただきますと、例えば相続が発生し、相続税を支払うために一部を取得させていただいた事例もあります。

また、市が購入する場合、税の軽減もあり、手数料もかからないといったメリットもありますので、価格単価は違えども、市に売ったほうが負担が少ないというような手法もお伝えしながら、地権者の方を説得していきたいと考えています。

Q 市民

先日、愛知で中学生が刺された事件がありましたが、すぐに学校が会見を開き、いじめは認識していないと答えていました。

いじめを隠そうという体質が今までも見えてきており、なんでそうになってしまうのかと考えたところ、いじめが発生することで教育委員会や校長先生に対する評価にマイナスの働きかけがあることから、隠そうとしてしまうのではないかと、その構造が良くないのではないかと思います。

いじめは先生の知らないところで起こるので、先生が知らないのはあたりまえであり、学校は正直に公表し、対応することで、関係者の評価にも影響せずに、責められないような環境構築が必要なのではないかと思います。

A 市（学校教育部長）

愛知県の事件については、報道等で承知しております。当初は、いじめがないと聞いたものの、調査していく中で、いじめらしきものがあったと判明したとのこと。ご指摘のとおり、学校や教育委員会で隠ぺいがあったは

ならないと思っています。

個人情報も含むため、どこまで公表するかという問題はあるかと思いますが、しっかりと事実を説明する責任があると考えます。例えば、最初の段階で断定ができなければ、調査をしてしっかりと報告することをまずお伝えするなどの対応が考えられると思います。

現在、学校現場に対して、評価につながるようなプレッシャーをかけるということはしておらず、風通しよく運営しているところです。

ぜひ、お気づきの点があれば、ご意見を寄せていただければと思います。

Q 市民

教育現場では子どもにアンケートを取っていると思いますが、何か思っていることがあっても、後で誰がチクったんだと犯人探しなどが始まることを恐れ、書けない子や、書かない子がいると思います。

そういった子たちはいじめホットラインなどの相談先を知っていても相談を躊躇してしまいますし、どうやって助けを求めていけばいいのでしょうか。

もう少し踏み込んでいくことが、これからの時代には必要なのではないでしょうか。

A 市（学校教育部長）

ここ1～2年、子どもも大人も自殺が増加している傾向にあります。

市では、アンケートも実施していますが、そのほかにストップイットという相談アプリや、相談窓口の開設、また、心の中がわかるストレスチェック、対面形式の教育相談など、考えられる手段は実施しているところです。

それでも、子どもの心の中は見えにくいこともありますので、見ているから大丈夫だと安易に考えず、日常の観察、それからぜひとも家庭や地域の中でも連携を図り、子どもからのサインを見逃さないようにすることが大切だと考えています。

子どもたちの命を守るのは何よりも一番大事なことであり、今後も努力していきたいと考えていますので、地域の皆さま方におかれましても、子どもの見守りをよろしくお願いいたします。

Q 市民

ワクチン接種を柏で受けたという知り合いが何人かいるのですが、先ほど話に上がったVRSにしっかりと登録されているかどうかについて、市のどの部署に相談すればわかるのでしょうか。

また、指定ごみ袋の件についてですが、指定ごみ袋が導入されるごみ以外は今までどおりの捨て方で大丈夫という認識で大丈夫でしょうか。

A 市（健康福祉部長）

ワクチン接種の専用ダイヤルを設けていますが、こちらは民間委託となっていますので、個人情報についてはお答えが難しいです。

保健センター（7154-0331 健康増進課）にお問い合わせいただければ、本人確認後に折り返しで回答することが可能ですので、よろしくお願いいたします。

A 市（環境部長）

今回は燃えるごみと容器包装プラスチックに指定ごみ袋を導入します。

それ以外のペットボトル、燃やさないごみ、危険有害ごみは従来通り半透明または透明の袋に入れて出していただければ問題ありません。

Q 市民

アメリカのテキサス州、ヒューストンにストレートチルドレンミュージアムというものがあり、とても素晴らしいと思いました。

これからの学校教育はプログラミングと英語が重要になってくると思います。「流山はプログラミングと英語に強い」などと全国的にアピールできるまちづくりをしてみたいでしょうか。

また、学校でノートPCを使用しているみたいです、学習教材としてゲーム機にもならないでしょうか。

A 市（学校教育部長）

流山市は英語にも大変力を入れており、全校にALTという外国人の方やサポーターの指導員を入れており、千葉県全国平均よりもかなり高い成績となっています。

また、学校ではタブレットにもなるノートPCを使用しており、画面が外

せるものとなっています。

A 市（市長）

流山市では10年前から小学校でも英語を勉強しています。その結果、全国の中学3年生に対して行われる英検3級レベルの統一テストでは、令和元年は国平均が44%なのに対して、流山市は60%、令和2年度の国平均はまだ出ていませんが、国の目標数値が50%なのに対し、流山市は69.9%となっています。

私も昔はヒューストンにおり、チルドレンミュージアムは大変良いと思いますが、流山ではチルドレンミュージアムの機能を生涯学習センターで担っています。コロナ禍によりこの1年半は子ども向けの企画、イベントを行っていませんが、生涯学習センターでは1年を通じて様々なプログラムを実施しています。

また、この場をお借りし、先ほどテレビではおたかの森ばかりを取り上げるという旨のお話がありましたが、市として取材を打診しているのではなく、テレビ側が自分たちでリサーチし、シナリオを立て、ロケ地を探しています。

取材を受けた方からの市にこのような取材を受けましたという情報は入ってきますが、市からテレビ側に対してここを取材してくださいというような誘導は受け入れてもらえません。

東小学校のプログラミング教育がNHKで放映されましたが、今後も様々な挑戦をし、色々な世代の市民や地域が紹介されるように願っています。

Q 市民

先ほどプールの利用者の方からアンケートを取ったら90%近い方が満足だったということでプールの廃止に踏み切ったと言われましたが、それはやはり一部の方の意見だと思うので、地域の方、そして子どもがいる方たちからもアンケートを実施してほしいと思います。

よろしくお願いいたします。